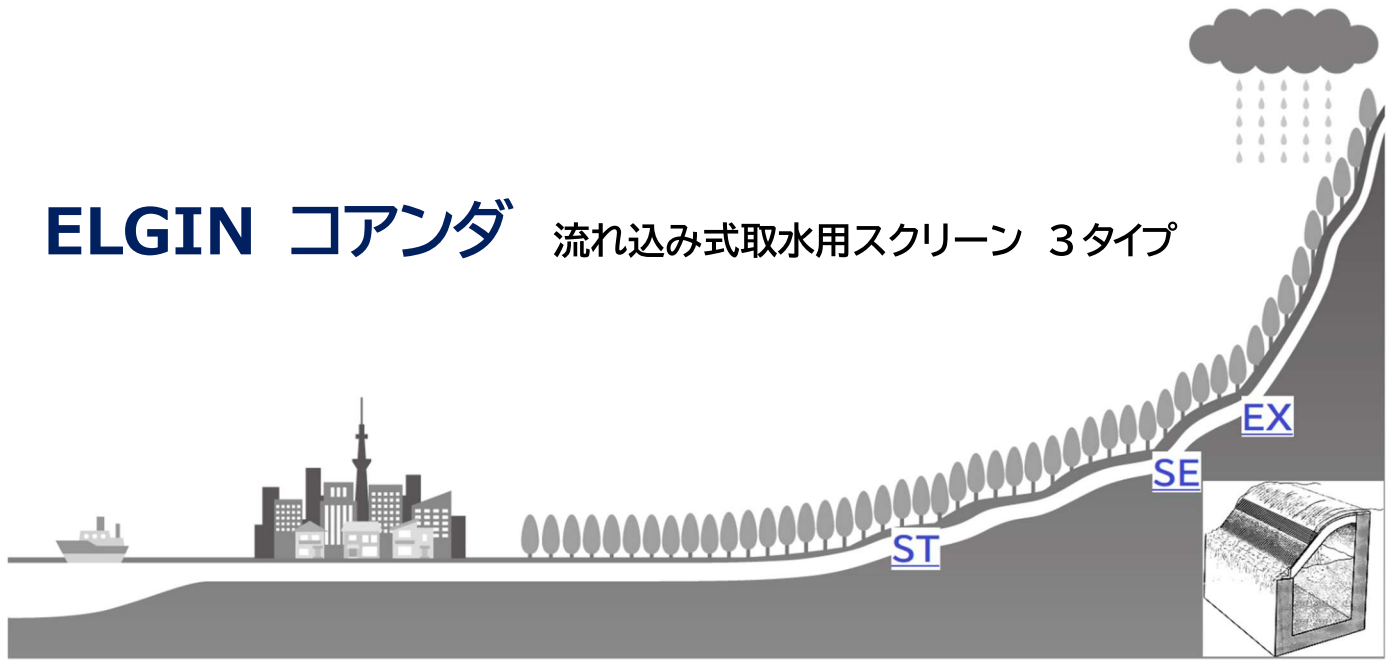


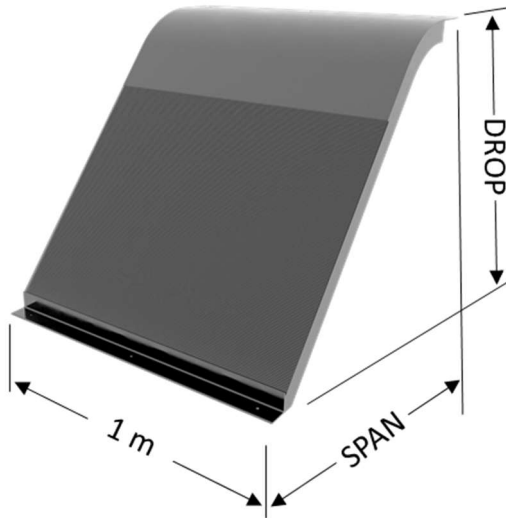


ELGIN コアンダ 流れ込み式取水用スクリーン 3タイプ



ST = 沈砂池用標準タイプ	SE = 中流域対応, 保護バー付	EX = 上流域対応, 保護バー付
<ul style="list-style-type: none"> ● 深さのある沈砂池経由での安定流量環境に適し、比重 1 以下の浮遊雑物除去に適した取水用コアンダスクリーンです。 ● エルジン社は 20 年に渡る小水力発電用設置経験による多くのノウハウを所有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川中流域用です。流れの変化が激しく、石類、小枝類流入などからワイヤーを保護する保護カバーを取り付けています。設置場所に短距離の水溜を設け流れの安定を得ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水溜環境がない河川上流域用です。 ● 大型ごみの攻撃に対応できる保護カバーがスクリーン表面を覆う強靱型です。 ● SE 型同様 EX 型もオプションでは摩耗スクリーンパネルを交換出来る構造を有します。(*=2 ページ最終参照)
		
		

取水量の目安 “ST” (参考値)



スクリーンパネル一枚幅 1mを基準に設計します

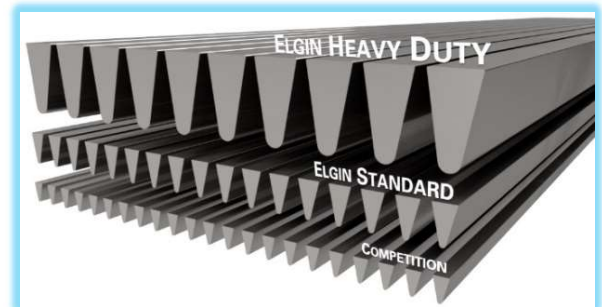
形式	容量/リットル/秒	ドロップ (mm)	スパン (mm)
A0.1	9.3	(152)	(152)
A0.25	23	(279)	(305)
A0.5	46	(483)	(518)
A1.0	93	(762)	(749)
A2.0	186	(1270)	(1133)
B3.0	279	(1702)	(1422)
B4.0	372	(2083)	(1753)
C3.0	279	(1422)	(1626)
C4.0	372	(1651)	(2032)
C5.0	464	(1905)	(2413)
C6.0	557	(2159)	(2794)

SE 型、EX 型の予想取水量については、もしドロップ・スパン値が **ST 型データ**と同様であれば、取水量を 10%程度削減した値と**予想してください**。最終的な取水量目安は、お客様から現場のスパン・ドロップ値情報報を頂いた上でお知らせします。更に下記に記載する ウェッジ ワイヤーの種類により変化します。

ウェッジ ワイヤーの種類 (参考情報)

コアンダスクリーンに使用されるウェッジ ワイヤーは、1.5mm×2.5mm(幅×高)が通常ですが、エルジン社標準仕様では**2.2mm×3.9mm**(幅×高)のサイズを使用します。最も過酷な環境の場合、オプションとして**4.7mm×8.7mm**(幅×高)のサイズも使用できます。

ご希望に応じて、より頑丈なタイプもご提供できます。



引き合いに際し、取水場所で確保できる最大最小のスパン・ドロップ値と共に、ご希望の下記オプションもご連絡ください

型	オプション	補足説明
ST 型	<ul style="list-style-type: none"> ウェッジ ワイヤーを 4.7x8.7mm の HD に変更可能 (HD=Heavy Duty) 	<ul style="list-style-type: none"> ウェッジ ワイヤーの種類に関係なく摩耗した場合、スクリーン全体を新品に取り換えます。(破損コアンダスクリーンは金属としてリサイクル) SE 型や EX 型オプションでのスクリーン交換方式は ST 型にはありません。
SE 型 EX 型	<ul style="list-style-type: none"> ウェッジ ワイヤーを 4.7x8.7mm の HD に変更可能。 スクリーン摩耗の場合、保護バーカバーを取り、スクリーンパネル一枚全体を現場で新品に取り換えるエコモデルもあります。注文時パネルを予備部品として保管し即交換可能の上、輸送費をセーブします。 	<ul style="list-style-type: none"> エコモデルでのスクリーン交換方式はスクリーンパネル交換型(SE/EX オプション)のみです。 保護バーカバーはパネル交換時、基礎部から取り外し、パネル交換を行います。保護バーカバーの予備はお勧めしません。お近くの鉄工所での保守修理が可能と想定。

(*)例えば 0.5mm程度の砂が多い渓谷の場合、長年の小砂の攻撃はワイヤーに対し研磨剤としての動作を与えるため、スクリーン摩耗を引き起こします。**SE・EX型**では“**オプション**”としてスクリーンパネル交換式を提供できます。